

人権教育月間（11月4日～12月4日）より



1ヶ月間を通して、満蒙開拓記念館の見学 渡邊美津子先生の「川村カネト」の生涯についての講演 ALTネジャット先生(トルコ共和国出身)から見た日本での対応 について学習してきました。人種や民族、国籍に関わりなく人権を大切にしていくにはどうすればよいのか、差別する心とどう向き合えばよいのか、自分に何ができるかなど全校で考えてきました。

【渡邊美津子先生のお話から生徒の感想】

- ・自分の抱いた夢をあきらめない、共に生きている気持ちですごいと思った。自分の湯をあきらめず自分から前へどんどん進んでいく姿をまねしたいと感じた。
- ・今でも飯田線がつながっているのはすごい。
- ・アイヌ人というだけで激しい差別や偏見を受けたけど、くじけず飯田線の工事に命をかけた川村カネトさんのことを忘れないようにこれから生きていきたいです。

人権教育月間のまとめとして、身近な外国人であるALTネジャット先生から、「トルコの電車の中は賑やかだが、日本の電車の中はとても静か」「外国人だからということでアパートの入居を断られた」「町を歩いているだけで、何度も警察官から呼び止められ、鞆の中身をチェックされた」等について聞き、自分たちはどうしていけばよいのか考えました。

【感想】

- ・国や人はいろんな違いがあるけれど、あってよい違いと、あってはいけない違いがあると思った。自分の考えなどを押しつけずに相手の考えを聞くとまた考え方が変わるかもしれないと思った。
- ・文化の違いや習慣の違いがあることを知り、相手のことを理解することや相手のことを考えて行動することが大切だと感じた。

天龍村文化祭参加（11月15日）



合唱や PROJECT で活動してきた成果を発表するとともに、ハンガー PROJECT の活動が、地域に貢献した活動ということで村から表彰していただきました。

生徒会引き継ぎ会（12月11日）



焼き芋会（12月 3日）



地震体験車（12月11日）



新入学生体験入学（12月14日）



新入生体験授業では、本校卒業生で社会人の宮澤拓真さんと宮澤寿幸さんをオンラインでのパネラーとしてキャリアシンポジウムを行い、「人はなぜ働くのか」について考えました。「自分に合った仕事を見つけることが大切」「自分が楽しいと思える職業を探したい」等と振り返りました。